



2023年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月13日

上場会社名 ポエック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9264 URL <http://www.puequ.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 俊宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 吉本 貞幸 TEL 084 (922) 8551
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第1四半期の連結業績（2022年9月1日～2022年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	1,450	8.4	30	—	36	464.8	20	29.1
2022年8月期第1四半期	1,337	△21.3	△3	—	6	△87.7	15	△55.1

(注) 包括利益 2023年8月期第1四半期 18百万円 (50.2%) 2022年8月期第1四半期 12百万円 (△65.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第1四半期	8.57	—
2022年8月期第1四半期	6.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第1四半期	8,538	2,605	30.5
2022年8月期	8,141	2,675	32.9

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 2,605百万円 2022年8月期 2,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	38.00	38.00
2023年8月期	—	—	—	—	—
2023年8月期（予想）	—	0.00	—	38.00	38.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,276	8.1	265	△3.3	265	△9.4	141	—	59.95

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期1Q	2,353,500株	2022年8月期	2,353,500株
② 期末自己株式数	2023年8月期1Q	1,170株	2022年8月期	1,170株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期1Q	2,352,330株	2022年8月期1Q	2,352,330株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染再拡大等の影響などから個人消費の伸び悩みや輸入の増加を主因にマイナス成長に転じております。一方、海外においては、米国経済は減速しつつも底堅く推移しており、アジア経済の中心となっている中国経済はロックダウンの影響で減速傾向にあります。

このような経営環境の下、水処理及び環境機器の営業を一部アウトソースするなど営業の効率化に取り組んでまいりました。

動力重機等事業におきましては、船舶、プラント機器需要が依然として堅調推移していることから関連機器の製造受託需要獲得に重点をおいた営業を展開してまいりました。

全体としては、環境関連市場の需要獲得が順調に推移したことや、前第1四半期連結会計期間に計上したM&A費用約25百万円が当第1四半期連結会計期間で発生しなかったことから、経営成績は堅調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,450百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益30百万円（前年同期は営業損失3百万円）、経常利益36百万円（前年同期比464.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20百万円（前年同期比29.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(環境・エネルギー事業)

水処理機器の卸販売が堅調に推移するとともに、養殖市場に対する海水用ヒートポンプチラーの製造販売事業が好調に推移したことで、当第1四半期連結累計期間の経営成績は順調に推移しました。

以上の結果、環境・エネルギー事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は811百万円（前年同期比15.8%増）、セグメント利益32百万円（前年同期はセグメント損失18百万円）となりました。

(動力・重機等事業)

船舶、プラント関連市場及び工作機械関連市場において需要は前期から堅調に推移しております。こうした環境にありながら、受託案件の進捗が前期と比較してややゆるやかに推移したことで売上高は前年同期を若干下回り、これに伴って利益も減少しました。

以上の結果、動力・重機等事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は539百万円（前年同期比2.8%減）、セグメント利益28百万円（前年同期比31.3%減）となりました。

(防災・安全事業)

新型コロナウイルス感染被害が拡大してきたことで不透明な経営環境にありました。このような環境の下で病院や介護施設における設備投資意欲は依然として低調となっておりますが、前期からある受注残を消化してきたことで売上高は増加しました。一方、これらの受注残は価格競争があるなかで受注した案件が比較的多くあり、その影響等を受けて利益率は減少しました。

以上の結果、防災・安全事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は99百万円（前年同期比20.9%増）、セグメント損失1百万円（前年同期はセグメント利益3百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,538百万円（前連結会計年度末は8,141百万円）となり、397百万円増加しました。

流動資産は4,062百万円（前連結会計年度末は3,730百万円）となり、332百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が267百万円、商品及び製品が24百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は4,475百万円（前連結会計年度末は4,410百万円）となり、65百万円増加しました。これは主に、建物及び構築物が13百万円、投資有価証券が3百万円それぞれ減少した一方、建設仮勘定の計上によりその他が75百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は5,933百万円（前連結会計年度末は5,465百万円）となり、468百万円増加しました。

流動負債は3,414百万円（前連結会計年度末は3,122百万円）となり、291百万円増加しました。これは主に短期借入金が200百万円、賞与引当金が44百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定負債は2,518百万円（前連結会計年度末は2,342百万円）となり、176百万円増加しました。これは主に、長期借入金の増加189百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,605百万円(前連結会計年度末は2,675百万円)となり、70百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が69百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年10月14日の「2022年8月期 決算短信」で公表いたしました2023年8月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,648,205	1,916,176
受取手形、売掛金及び契約資産	1,417,134	1,411,771
電子記録債権	120,112	137,325
商品及び製品	58,088	82,576
仕掛品	282,102	283,756
原材料及び貯蔵品	48,128	53,255
その他	160,931	181,797
貸倒引当金	△4,334	△3,880
流動資産合計	3,730,368	4,062,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	828,769	815,205
土地	2,093,102	2,093,102
その他(純額)	556,696	632,177
有形固定資産合計	3,478,568	3,540,486
無形固定資産		
のれん	5,867	5,650
その他	5,219	4,909
無形固定資産合計	11,086	10,559
投資その他の資産		
投資有価証券	308,604	305,409
その他	722,757	729,245
貸倒引当金	△110,242	△109,756
投資その他の資産合計	921,119	924,898
固定資産合計	4,410,774	4,475,944
資産合計	8,141,142	8,538,724
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	348,600	350,838
短期借入金	1,570,000	1,770,000
1年内返済予定の長期借入金	893,166	840,770
未払法人税等	50,379	23,393
賞与引当金	28,017	72,690
その他	232,796	356,913
流動負債合計	3,122,959	3,414,605
固定負債		
長期借入金	2,027,554	2,216,715
役員退職慰労引当金	21,781	22,427
退職給付に係る負債	153,653	157,003
その他	139,280	122,485
固定負債合計	2,342,269	2,518,630
負債合計	5,465,228	5,933,236

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,062,420	1,062,420
資本剰余金	920,120	920,120
利益剰余金	701,384	632,156
自己株式	△231	△231
株主資本合計	2,683,693	2,614,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,779	△8,978
その他の包括利益累計額合計	△7,779	△8,978
純資産合計	2,675,914	2,605,488
負債純資産合計	8,141,142	8,538,724

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
売上高	1,337,810	1,450,685
売上原価	1,052,086	1,144,637
売上総利益	285,724	306,047
販売費及び一般管理費	289,446	275,469
営業利益又は営業損失(△)	△3,722	30,577
営業外収益		
受取利息	150	2
受取配当金	265	45
投資有価証券売却益	6,699	247
固定資産賃貸料	3,960	3,948
保険解約返戻金	—	141
補助金収入	2,555	4,492
その他	6,483	5,378
営業外収益合計	20,114	14,256
営業外費用		
支払利息	6,598	6,086
投資有価証券売却損	725	159
投資有価証券評価損	405	—
その他	2,136	1,725
営業外費用合計	9,864	7,970
経常利益	6,526	36,862
特別利益		
固定資産売却益	103	—
負ののれん発生益	20,001	—
特別利益合計	20,104	—
特別損失		
固定資産除却損	62	0
立退費用	—	4,090
特別損失合計	62	4,090
税金等調整前四半期純利益	26,569	32,771
法人税等	10,950	12,610
四半期純利益	15,618	20,161
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,618	20,161

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	15,618	20,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,994	△1,198
その他の包括利益合計	△2,994	△1,198
四半期包括利益	12,624	18,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,624	18,962

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	700,615	554,593	82,600	1,337,810	—	1,337,810
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,869	—	—	1,869	△1,869	—
計	702,485	554,593	82,600	1,339,679	△1,869	1,337,810
セグメント利益又は損失(△)	△18,146	40,845	3,232	25,931	△29,654	△3,722

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失

(単位:千円)

	金額
セグメント間取引消去	△170
全社費用※	△29,484
合計	△29,654

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

環境・エネルギー事業において、当第1四半期連結会計期間より株式会社マリソリバーの株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は20,001千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2022年9月1日 至 2022年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	811,563	539,241	99,879	1,450,685	—	1,450,685
セグメント間の内部売上高 又は振替高	626	—	—	626	△626	—
計	812,190	539,241	99,879	1,451,311	△626	1,450,685
セグメント利益又は損失 (△)	32,768	28,061	△1,596	59,234	△28,656	30,577

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失

(単位：千円)

	金額
セグメント間取引消去	△161
全社費用※	△28,495
合計	△28,656

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。